

愛知県のぶどう生産の概要

2018年産の本県産ぶどうの結果樹面積※は455ヘクタール、収穫量は4,040トンで、結果樹面積は全国7位、収穫量は全国9位です。県内では、大府市を始め各地域で栽培されています。

県内で栽培されている品種は、「巨峰」が7割を占め、なかでも、植物成長調整剤ジベレリンを用いた「種なし巨峰」の栽培は本県が発祥です。

また、近年では、「シャインマスカット」など様々な品種が導入されています。

※ 結果樹面積

収穫するための果実を結実させた園地の面積。

表1 全国主産県と愛知県のぶどう結果樹面積（2018年産）

順位	県名	結果樹面積 ha	結果樹面積 シェア %
1	山梨県	3,800	22.8
2	長野県	2,270	13.6
3	山形県	1,490	8.9
7	愛知県	455	2.7
全国計		16,700	100.0

(果樹生産出荷統計)

表2 全国主産県と愛知県のぶどう収穫量（2018年産）

順位	県名	収穫量 t	収穫量 シェア %
1	山梨県	41,800	23.9
2	長野県	31,100	17.8
3	山形県	16,100	9.2
9	愛知県	4,040	2.3
全国計		174,700	100.0

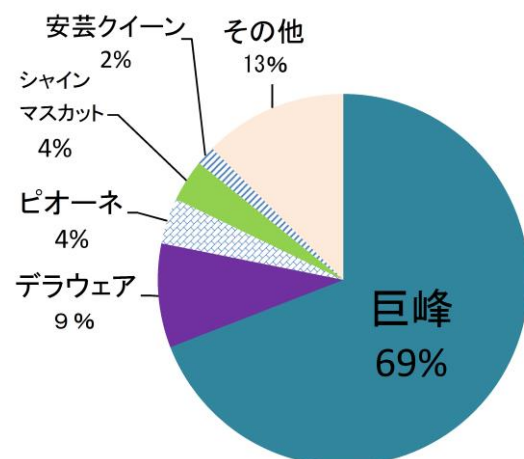
(果樹生産出荷統計)

表3 愛知県市町村別栽培状況（2016年産）

順位	市町村名	栽培面積 ha	シェア %
1	大府市	63.0	20.1
2	東浦町	62.0	19.8
3	東海市	32.7	10.4
4	岡崎市	29.4	9.4
5	豊橋市	21.7	6.9
6	春日井市	13.2	4.2
7	名古屋市	12.9	4.1
8	刈谷市	11.2	3.6
9	小牧市	9.8	3.1
10	豊田市	9.8	3.1

(愛知県調べ)

図1 愛知県におけるぶどうの品種構成（2016年産）



(愛知県調べ)